

■川内駅花飾り展示模様 (R3.2月12日～22日)



展示全体



デイスバッドマム



デイスバッドマム



ラナンキュラス



マーガレット



デイスバッドマム



産地 PR パネル及
びフライヤー



配布フライヤー

規格外の花展示し 生産者を支援

02月12日 19時08分



新型コロナウイルスの影響で花の売り上げも落ち込む中、川内駅では規格外の花を使ったフラワーアレンジメントを展示して地元の花をPRしています。

これは薩摩川内市が地元の花の消費拡大につなげようと企画したもので、12日は川内駅の改札口付近の通路で、生産者や市の関係者が集まって展示ブースを設営しました。

ブースでは、「ディスパッドマム」と呼ばれる1輪仕立ての菊を使ったフラワーアレンジメントが展示されています。

使われたのはピンクや白など合わせて4品種で、いずれも花が開きすぎているなど規格外のものだということです。

また菊のほかにもマーガレットの鉢植えなど、市内の合わせて3軒の生産者が育てた色とりどりの花が展示され、季節ごとの花を紹介するパネルも設置されています。

市によりますと、新型コロナウイルスの影響で冠婚葬祭やイベントの機会が減り去年の市内の花の売り上げは、前の年より2割から3割ほど落ち込んでいるということです。

生産者の長野寛樹さんは「どこにも行くあてのない花を1本でも多く使ってアレンジしています。率直にきれいと感じてもらいたいです」と話していました。

このブースは、今月22日まで川内駅に設けられています。